

製品名: CD31 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86771**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:83 kDa; Observed MW:130-135 kDa

抗原情報

遺伝子名	CD31
別名	Cd31; Pecam; C85791; PECAM-1
遺伝子ID	18613
SwissProt ID	Q08481
免疫原	マウス CD31 の組み換えタンパク質

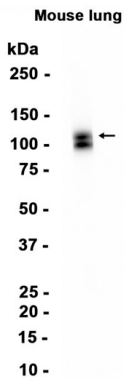
背景

ほとんどの炎症状態における白血球の内皮透過性遊走（TEM）に必要な細胞接着分子。Tyr-679 は TEM で重要な役割を果た

し、PECAM1 の側方境界リサイクリングコンパートメント (LBRC) との間の効率的な輸送に必要であり、遊走する白血球の周囲に LBRC 膜を標的とするためにも不可欠です。「分離」シグナルを伝達することで近接した生細胞の食細胞摂取を防ぎ、アポトーシスに関する機能を変化させ、死にゆく細胞を食細胞に繋ぎ止めることを促進します (生細胞と食細胞が両方の細胞表面で PECAM1 の同質親和性相互作用を介して遭遇すると、生細胞は食細胞から積極的に反発します)。アポトーシスの間、PECAM1 の inside-out シグナル伝達は何らかの理由で無効になり、アポトーシス細胞は食細胞を積極的に拒絶しなくなります。

研究分野

画像データ



CD31 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス肺組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。